

『熊谷の子どもたちは、これができる!』

4つの実践 アクセル

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。

④友だちをたくさんつくる。

③減運動 ブレーク

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

別府小だより

令和7年11月20日(木)

No.8

学校教育目標

高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成
知進んで学習する子 德他人を思いやる子
体力・活力のある子



読書は好きですか?

新聞や書籍などの紙媒体を読む機会が減っている「活字離れ」が叫ばれてから久しくなっています。私自身、読書が好きなので、子供たちには「離れてほしくない」と願うばかりです。11月の全校朝会では、「読書のよさ」について話しました。子供たちには、「なぜ読書が好きなのか、嫌いなのか(読書をしないのか)、理由を隣の人へ伝えてください」という時間を40秒程度取りました。理由は様々ですが、嫌いな子供たちに伝えたい、「決して今からでも遅くはない」と。漫画や絵本でも構いません。私は幸いにも「夢中になれる本」に出会えました。そのおかげで生活にも潤いが増しました。子供たちにも紹介しましたが、ミッキーマウスの生みの親、ウォルト・ディズニーはこう言います。「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、「本」には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことが出来るのだ」と。本から多くの恵みを得たであろうウォルトだからこそ、人気のあるディズニー作品や誰もが楽しめるリゾート地を開発できたのではないかでしょうか。

デジタル化が進む昨今、本屋が減少傾向にあると言われています。それでも子供たちには「お気に入りの本」と出会ってほしいです。そのためにはまず我々大人が、家庭や学校で、様々な本と出会う機会を多く与えるなど、「本のよさ」を伝えていきたいものです。 文責 深澤 信也

読書(どくしょ)のよさ

その1 頭の中「スーパーひらめきマシン」ができる!

その2 どこへでもつれていってくれる「ふしぎなドア」

その3 心がホッとする「おまもり」になる

読書(どくしょ)のよさ

頭がよくなり、友達の気持ちもわかるやさしい人になれる



宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、「?」には多くの宝が眠っている。

- ①海
- ②本

③カレーライス

ウォルト・ディズニー

12月の生活目標
休み時間を安全に過ごそう。
(廊下では「遊ばない」「走らない」)

2年生 生活科見学(10月23日)

羽生のさいたま水族館では、生き物に関するお話を聞き、熊谷市立妻沼図書館では、本の貸出の仕方、検索方法などを教えていただきました。実際に見たり、触れたりすることで多くのことを学ぶことができました。



公民館と共に 音楽鑑賞会(10月30日)

音楽サークル「ポプリ」の方々に来ていただき、木琴など様々な楽器を使って、子供たちが好む音楽を演奏してくださいました。巧みに楽器を操る姿を見て、子供たちも喜んでいました。泉の会の方々も一緒に鑑賞してくださいました。ありがとうございました。



フリー参観・家庭教育学級(10月29日)

保護者の皆様、大変ありがとうございました。子供たちの頑張る姿を見てくださったおかげで、子供たちも嬉しそうに学習に取り組んでいました。そんな子供たちから職員一同も元気をもらいました。これからも学校生活に活かしていきます。

